

平成26年度 事業報告



千葉科学大学

「健康で安全・安心な社会」の構築に貢献できる人材の養成を行う



学生ひとりひとりの能力を最大限に伸ばすために教職員が一致団結して指導し、学生の満足度を高められるよう努力しました。

1. 次の10年に向けて若手の教職員の活躍に期待しましたが充分とは言えませんでした。逆に年輩の教職員によって、“船頭多くして船山へ登る”状態がみられました。
2. 危機管理システム学科に警察官・犯罪科学コースを設置するための準備をしました。
3. 新入学生対象に地域学習のための「銚子学」を選択科目として平成27年度から開講するための準備をしました。

千葉科学大学 学長 赤木 靖春

教育の充実

■看護学部の開設

平成26年4月に看護学部を開設しました。看護学の知識・技術だけでなく、既存の薬学部や危機管理学部と連携した教育を展開し、「危機管理」の視点をも重視した看護学教育に取り組み、いかなる状況においても「真に人を助けられる」看護職を育成します。

■エアラインパイロットプログラムの実施

工学技術危機管理学科パイロット・整備コースにおいて、エアラインパイロットプログラムを実施し、被災地での運行を想定し、災害による環境や状況の変化を理解しながら安全に航空機を操縦する事業用操縦士を体験や実習を通して育成します。

■日本語補習講座の開講

外国人留学生を対象に日本語能力検定2級合格を目標とした補習講座を開講しました。

■FD活動の推進

学生による授業評価アンケート、教員対象のFD講演会、教員相互に行う公開授業およびFD活動に関する意見交換会などを実施し、FD活動を行いました。

■大学間連携共同教育推進事業

本学と千葉大学及び城西国際大学による、5個のプログラムにおけるEラーニング及び演習を実施し、

受講修了学生による成果発表会を開催しました。また、9月29日に第1回実践社会薬学シンポジウムを千葉大学にて開催し、約200名の参加があった。本学からは、学長教職員学生を合わせて23名参加し、うち2名の学生が本学主管のクラスCに参加した成果発表を行いました。

■社会人大学院サテライト教室（東京）

社会人の学び直しに因るため、在職のままで学位取得の可能な「大学院危機管理学研究科サテライト教室」において、危機管理學に関しワン・ストップで総合的に学び、修士、博士の学位が取得できる大学院教育を推進します。今年度は6名の社会人が受講しました。

学生支援

■修学支援・学習支援

専願入試合格者に対し、入学前指導を実施し、入学までの不安解消と学習意欲の継続を図っていきます。また、入学後は充実した学生生活の支援のため学習全般についての相談を実施します。

・全学共通情報システムの導入

全学共通情報システムの導入により、入試段階から就職支援に至るまでの情報を一元化し、学生の修学支援の充実を図るべく2年計画で導入を進めております。

■進路支援

学生に対する大学院への進学支援、就職支援、キャリア支援、公務員対策、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などを行っています。特に、地元出身学生の増加に合わせて、地元および周辺地域企業に重点を置いて開拓を推進しました。

・就職ガイダンス及び各種セミナーの開催

3年次生を対象に、就職活動を進める上で必要なテーマを取り上げる就職ガイダンスや、様々な業界を知る業界セミナーを学内で開催しました。また、3年次生（薬学科は5年次生）全員との個人面談を実施し、個別指導を行ってまいりました。

・インターンシップ

企業等に学生を派遣するインターンシップに取り組み、夏期に1～2週間程度の就業体験を実施し100名程度の学生が参加しました。

なお、10月27日にインターンシップ報告会を実施いたしました。

・合同業界研究会

採用担当者と本学学生がブース別に面談する合同業界研究会を12月13日、14日の2日間学内で開催しました。

・キャリア支援

キャリア支援科目に職員を派遣し自己理解やコミュニケーションの重要性などを学生に伝えています。

・公務員試験対策

2月19日から3月3日にかけて公務員採用試験の筆記対策として基礎講座（主に1・2年次対象）、3月4日から27日まで実践講座（主に3年次対象）を開講しました。また、筆記試験合格者に対して、面接対策セミナーを実施します。業者主催公務員模擬試験を学内で1月と3月に実施しました。

・資格取得支援

危険物取扱者の試験対策講座（10月9日から11月27日）8回開講し、資格取得試験を11月30日学内で実施しました。

・就職先企業開拓

様々な業種の企業を新たに訪問し、就職先の開拓を行い、特に銚子市周辺の地元企業の開拓に努めました。また、加計グループ5大学1短大共催の企業懇談会（東京、大阪、広島）を開催しました。

■生活支援

新入生、在学生オリエンテーションや各種奨学金の説明会及びアパートの紹介など学生の日々の生活に関連する諸々の支援の充実を図ってまいりました。

■留学生支援

新入生オリエンテーションから日本語や日本の文化に慣れるように在学留学生の協力を得て新入生へ

の指導を行いました。

- ・一日研修旅行 11月 留学生を含めて34名参加
- ・加計杯日本語弁論大会 11月 特別賞、学長賞及び加計杯を受賞しました。

■学生図書委員会制度の設立

学生図書委員会制度を設立し、学生からの要望を取り入れた図書館運営を行って参りました。

社会連携・社会貢献

■地(知)の拠点整備事業

千葉科学大学COC拠点整備事業推進協議会(会長:銚子市長)および防災、食の安全、観光・郷土教育などワーキンググループでの協議を踏まえ、大学が地域における知の拠点(Center of Community)となることをめざして、COC事例発表会の開催などを通じ、地域に根差した産官学連携を進めております。

■CISフォーラム

有識者による講演会、大学、企業の研究者が最新の研究成果やシーズを紹介します。講演会参加者185名、ポスター発表31件にて実施しました。

■図書館の地域市民への開放

開学以来、図書館を地域、市民の皆様に開放しています。本年は、図書館報を発刊し、情報提供することで地域貢献を行いました。

■市民公開講座の開催

平成24年・25年に引き続き、市民公開講座を年6回開催しました。第1回8月24日開催41名、第2回8月31日開催102名、第3回9月21日開催97名、第4回10月26日開催105名、第5回11月16日開催80名、第6回12月7日開催58名が参加され、全講座参加27名に公開講座修了証を交付しました。

■銚子ジオパーク

銚子ジオパークとして認定を受けた屏風ヶ浦の地層、犬吠埼の浅海堆積物などを観光資源として活用し、地域住民の郷土愛の育成等を通して地元の中学生・高校生に地元の地質資源の理解及び普及活動を行い「地育地就」にも貢献します。

■教員免許状更新講習の実施

地域からの要望もあり、昨年に引き続き教員免許状更新講習を実施しました。8月2日～8月6日の5日間で延べ482名が受講しました。

■教育提携校締結の拡大と関係強化

今年度は協定を締結した高校との相互関係を一層強化できるよう、出張講義、オープンキャンパス参加は勿論、学生・生徒の研究発表等の開催や高校教員との意見交換会の開催等の働きかけも行っています。今年度は、5校と協定締結を行いました。

■出張講義の拡大と内容の充実

高等学校への出張講義の実施回数を増やしていくことに努め、知の拠点としての大学の機能をさらに発展させていきます。近県の26校にて実施、受講者数は、約800人となりました。

■English Camp (高校生対象) 3月

銚子市内にある高等学校に通う生徒を対象に本学において3月26日、27日の2日間、英語セミナー(会話を中心)を行いました。参加者数は、3校より23名となりました。

国際交流

■Japan Bowl

4月に米国にて行われるJapan Bowlに出席する予定でしたが、欠席しました。

■海外からの研修団受入

4月	シンガポール交換留学生
6月	Great Falls 研修団(小学校)

7月	アメリカ・ブラジル研修団
	フィンドリー大仕事体験生終了
9月	フィンドリー大仕事体験生開始

■海外へ研修団派遣

8月	台湾へ海外研修団派遣 5名参加
	ライト大学へ海外研修団派遣 3名参加
	フィンドリー大学へ海外研修団派遣 2名参加
	ブラジル2大学へ海外研修団派遣 1名参加

■日本語能力検定試験

本学が日本語能力検定試験会場となりました。
7月と12月に当該試験が実施されました。

教育研究環境

■キャンパス美化

学内のキャンパス美化について、①学生・教職員の美化意識の向上②施設のメンテナンスの実施③アウトソーシング部分の見直しと改善案の検討等について中期目標(4年間)に基づく、単年度目標を定め、キャンパス美化を推進していきます。

また、開学10周年記念整備事業として、渡り廊下設置、歩道整備、モニュメント設置、防災シュミレーションセンターAV機器整備を行いました。

■省エネの推進

学内の省エネについて、①省エネに取り組める体制作り②学生・教職員の省エネ意識向上③省エネ器具、設備等の導入推進等中期目標(4年間)に基づく、単年度目標を定め、ポジティブな省エネも取り入れながら推進しました。

学生の受入

■オープンキャンパス

今年度は、各学部学科のイベントに参加しやすいタームテーブルとしより一層充実した内容となるよう企画しました。また薬学部と危機管理学部が共同で行っていた災害救助演習は、炎天下の元、時間的な理由から看護学部も含め、それぞれの学科内で災害救助に関する内容を展開しました。また、全4回のオープンキャンパスにストーリー性を持たせ、大学のコンセプトを表現します。さらに、各学部棟に学部の受付を設けたり、キャンパスツアーの実施で、大学が分かるように企画しました。参加した高校生が、「この大学で、この学科で、この研究室で、こんな勉強をしてみたい」という夢と希望を持つだけでなく、実現に向けた手伝いができるような内容を企画し、盛況感のあるオープンキャンパスが開催できました。

■広報活動

本年4月に看護学部の開設により、3学部体制となりました。『人を助けたい、という人の大学』をキャッチフレーズに、危機管理の素養を持った人材の育成をアピールしました。国家資格である薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、救命救急士、看護師等の多くの資格取得が可能であること、また消防官、警察官など公務員採用にも強いことや動物や環境、工学技術についても戦略的に前面に出して募集活動の強化を図ると同時に、医療系、薬学系、看護系の3本柱でのチーム医療の人材育成を重点に学生募集を行いました。

内部質保証

■薬学部自己評価

薬学部における教育研究活動の自己点検・評価を行い、その質を検証・保証するために薬学教育評価機構による第三者評価を受審してその結果を社会に公開するとともに、一層の改善・向上を目指します。10/28-29の2日間で訪問調査を受けました。

■大学基準協会中間報告

平成23年度認証評価受審時に第三者評価機関(大学基準協会)より、「助言」を頂いた事項に対し、これまでの大学の取り組みを自己点検・評価し、中間報告書としてまとめ公表します。

その他の取組等

■開学10周年記念事業

開学10周年を記念し下記事業を行いました。

- 1) 記念式典：5月24日(土)
- 2) 10周年記念誌発行
- 3) 記念整備事業
- 4) 記念特別講演会：6月7日(土)

人事・組織

■学外連携ボランティア推進室の設置

大学と外部(地域)との連携等を推進する専門部署を新設しました。地域連携、ボランティア活動の推進、産官学連携の推進、公的研究資金獲得に関することを主な業務とします。

主な行事

4月 3日	新入生オリエンテーション
4月 4日 ～5日	新入生宿泊研修
4月 6日	在校生前期オリエンテーション
4月 7日	入学宣誓式
5月 24日	開学10周年記念式典
5月 31日	オープンキャンパス
6月 7日	開学10周年記念講演
7月 26日 ～27日	オープンキャンパス
7月 30日 ～8月9日	前期定期試験
8月 2日 ～6日	教員免許状更新講習
8月 23日	オープンキャンパス
9月 6日	教育進路懇談会(地方)
9月 13日	教育進路懇談会(本学)
9月 18日	後期オリエンテーション
9月 20日	オープンキャンパス
10月18日	CISフォーラム
11月 22日 ～23日	青澄祭(大学祭)
12月2日	就職懇談会(東京会場)
12月13日 ～14日	合同業界研究会
1月 21日 ～31日	後期定期試験
3月6日	就職懇談会(広島会場)
3月13日	就職懇談会(大阪会場)
3月 25日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成26年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数			収容定員	在学者数			
			留学生	社会人	留学生		社会人			
大 学 院	薬学研究科（博士一貫）	3	2	1	0	9	3	1	0	
	薬学研究科（博士）	5	0	0	0	15	0	0	0	
	薬学研究科（修士）	10	4	1	0	20	10	1	0	
	危機管理学研究科（博士）	3	1	0	1	9	3	0	3	
	危機管理学研究科（修士）	5	9	2	4	10	13	3	5	
	大学院 計	26	16	4	5	63	29	5	8	
学 部	薬 学 部	薬学科（6年制）	120	142	8	0	770	596	20	2
		薬科学科 <small>（募集停止）</small>	—	—	—	—	0	11	0	0
		動物生命薬科学科 <small>（募集停止）</small>	—	—	—	—	0	1	0	0
		生命薬科学科	40	23	0	0	170	90	2	0
		計	160	165	8	0	940	698	22	2
	危 機 管 理 学 部	危機管理システム学科	100	73	7	0	405	375	72	0
		動物・環境システム学科 <small>（募集停止）</small>	—	—	—	—	65	40	1	0
		環境危機管理学科	40	19	1	0	120	81	3	0
		医療危機管理学科	80	88	0	0	325	359	0	0
		工学技術危機管理学科 （旧航空・輸送安全学科）	40	9	2	0	165	35	6	0
		動物危機管理学科	40	35	0	0	120	96	0	0
	計	300	224	10	0	1,200	986	82	0	
	学 部 護 士 学 科	看護学科	80	97	0	0	80	97	0	0
		計	80	97	0	0	80	97	0	0
学 部 計		540	486	18	0	2,220	1,781	104	2	
総 合 計		566	502	22	5	2,283	1,810	109	10	
留学生別科		40	25	25	0	40	25	25	0	

(単位：人)

■卒業生数一覧

(平成26年度)

区分	修了者・ 卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	10	7	7	100%	1	2	1	2
学部	328	223	210	94%	10	46	21	98

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成27年3月31日現在)

(単位：人)

主な就職先	ウエルシアホールディングス、クオール、国立病院機構、アストラゼネカ、トーアエイヨ、千葉県職員（病院局）、戸田中央医科グループ、東京消防庁、千葉市消防局、札幌市消防局、日立消防本部、警視庁、千葉県警察本部、神奈川県警察本部、栃木県警察本部、自衛隊、千葉県がんセンター、新日鐵住金、常陽銀行、アビスト、前川製作所他
-------	---

■教職員数

(平成26年5月1日現在)

学長	学長代理	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員 計	事務職員
1	1	2	64	16	20	13	2	1	120	53

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

科目	年度 26年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	2,861,586	2,699,378
補助金収入	789,179	357,509
その他収入	204,942	167,461
帰属収入合計	3,855,707	3,224,348
基本金組入額合計	△ 33,433	△ 26,705
消費収入の部合計	3,822,274	3,197,643
人件費	2,053,687	1,939,684
教育研究経費	1,493,495	1,325,989
管理経費	454,822	419,495
その他支出	7,710	5,791
消費支出の部合計	4,009,714	3,690,959

■施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
2号館渡廊下設置工事	22,350
マリナキャンパス・本部キャンパス用通路工事	3,650
10周年記念碑	4,080
多目的室新設工事	9,888
看護学部棟 看板取付	2,900
NMR装置一式 【補助金交付決定額 18,170千円】	28,944
全学共通学生情報システム [26年度 40,824、27年度 40,176] 27年度完成予定	81,000
看護学部看護学科図書(創設費)	19,700